

# Minami Kyushu University Junior college Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	研究科造園学専攻				
科目名称	ランドスケープ特論 I				授業形態	講義・演習			
科目コード	642600	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	岡島 直方							ICT活 用	
授業概要	この科目はランドスケープ構成にあたっての倫理的側面について、テキストをもとにディスカッションをしながら進めていく。テキストは英文なので英文を各自日本語に訳しながら進めていくことになるが、その際にどのように訳すかによってずいぶん異なる意味になるし、そのままでは理解できない箇所については文脈を補ったり、良い訳となるように工夫することが大切である。								
関連する科目	「ランドスケープ特論Ⅱ」								
授業の進め方 と方法	表示したテキストを主に進めていく。大学院生としてのテーマは、必ずしも授業計画に登場するものが主題となるとは限らないであろうから、随時本人のテーマに併せて、ここで示したテキストに限らず、学生本人の興味も併せて、教材を示していく。								
授業計画	<p>第1回. はじめに (テキストの紹介を行う)</p> <p>第2回. 人間と自然 (人間も自然の一部であるとはいえど何が自然と異なるのか考察する)</p> <p>第2回. 人間と樹木1 (人間と樹木との性質の違いについて考察する)</p> <p>第3回. 人間と樹木2 (人間と樹木との性質の違いについて考察する)</p> <p>第4回. 地面の掘削1 (一つのアクションの連鎖性について考察する)</p> <p>第5回. 地面の掘削2 (一つのアクションの連鎖性について考察する)</p> <p>第6回. 生花 (場所と人との関係性を探る方法について考察する)</p> <p>第7回. 予想外の出来事 (日常の流れが何であるかを浮かび上がらせる実験について学ぶ)</p> <p>第8回. 人間と人間 (人間と人間との関係性の形を見る)</p> <p>第9回. 非日常のサイン1 (日常の流れと異なる感覚を発見する)</p> <p>第10回. 非日常のサイン2 (日常の流れと異なる感覚を発見する)</p> <p>第11回. 休憩 (緊張とストレスを癒す発言について考える)</p> <p>第12回. ひもを使った演習 (すでにできあがって固定化した場所をやわらかく変容させる演習を学ぶ)</p> <p>第13回. 映画の効果1 (映画から推論する)</p> <p>第14回. 映画の効果2 (実際に見たことのない事象の存在を推論する)</p> <p>第15回. まとめ (全体に関するディスカッションをまとめるレポート課題を提示する)</p> <p>(内容は大学院生の興味に応じて変化する。)</p>								
授業の到達目標	テキストに描かれた空間の変化に関わる事例報告から学ぶ。それぞれの学生のバックグラウンドによって、同じ事例からも読みとめることは異なるであろうから、それについて表現できるようにしてもらう。								
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・技能と教養-(2)未知問題解決のために知識・技能を創造的に活用できる。/2. 人間力・社会性・国際性-(3)主体性を持って多様な人々と協働し、課題解決ができる。								
授業時間外学習【予習】	各々予習を30分から1時間必要とする。								

授業時間外学習【復習】	各々復習を30分から1時間必要とする。
課題に対する フィードバック	進行中の内容について授業中にディスカッションを行う。
評価方法・基準	受講態度(50点), レポート(50点)
テキスト	"Learning About Relationships", N. Okajima
参考書	関連書籍：授業のはじめに紹介する。
備考	